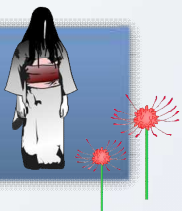


令和8年7月24日発行

祥雲閣

たよりvol.81

祥雲閣怪談のご案内



祥雲閣の庭園も夏の日差しが樹々に照りつける日が多くなってきました。夏がすぐそこまできているのを感じさせます。日本の夏と言えば怪談です。夏に怪談が語られるようになったのは江戸時代。歌舞伎で幽霊の出る演目が上演され、恐ろしい話を聞いて血の気が引くことで暑さをしのいでいたそうです。

祥雲閣では9月23日（水）（祝）

「～人気怪談師 城谷 歩 を囲む怪 第3弾～」
を開催します。皆さまのご来場をお待ちしております。

◇チケット販売

村田工務所パタ崎さんHallおおさき

（大崎市民会館）

TEL：22-2649

7月24日（金）から

受付時間 9時00分～16時30分

7月24日（金）13時から電話での予約も

受け付けます（平日のみ、窓口販売優先です。）

人気怪談師 城谷 歩 を囲む怪 第三弾

祥雲閣怪談

大崎市祥雲閣自主文化事業



9月23日（水・祝）

大崎市祥雲閣

（大崎市古川福沼一丁目2-2）

白昼夢の部 逢魔時の部

開場 13：30 開場 17：30

開演 14：00 開演 18：00

入場料 4,000円 全席自由

自主文化事業のため特別料金/各80席/未就学児入場不可

主催/大崎市・大崎市教育委員会 後援/大崎タイムス社・大崎ケーブルテレビ

チケットのお求めはこちら
（整理番号付き）

7月24日（金）から発売

※当日はチケット購入順に入場となります

大崎市民会館 Tel.22-2649

詳細は二次元コードから



（QRコードは各席に貼付）

QRコード

QRコード



季節によって変わる

茶室のしつらえと茶道具

香

お香は仏教とともに日本に伝わり、仏様へのお供えのほか、日本の文化と結びついて発展してきました。心身のリラックスや集中力の向上など暮らしの中で香りを楽しみ、癒しや気分の切り替えを実感している方も多いのではないのでしょうか。

茶道では、茶室の空間を清め、亭主とお客様の心を整えるためにお香がたかれます。

季節やお点前の種類によって使い分けられ、風炉の時期（5～10月）は香木（こうぼく）、炉の時期（11～4月）は練香（ねりこう）を香合（こうごう）お香を入れておく容器）に収めます。

「香木（こうぼく）」

香の原料となる木を
1センチ角に薄く削ったもの



「練香（ねりこう）」

粉末にした原料を練り
小さな丸い形にしたもの



祥雲閣カレンダー

※■は休館日です。

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1				1	2	3	4	5
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												

祥雲閣のご案内

四季折々の庭園を眺めながら

立礼茶室（椅子にお掛けいただくお席）で
お茶とお菓子を楽しんでいただけます。



交通案内 JR古川駅から徒歩約20分

東北自動車道古川インターから車で約10分

住 所 大崎市古川福沼一丁目2-2

開館時間 9：00～17：00

（最終入館16：30）

休 館 日 毎週月曜日
（月曜が祝日の場合は
その翌日）

入 館 料 無料

連絡先 TEL・FAX 0229-24-3385

